

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成20年10月30日(2008.10.30)

【公開番号】特開2007-131741(P2007-131741A)

【公開日】平成19年5月31日(2007.5.31)

【年通号数】公開・登録公報2007-020

【出願番号】特願2005-326396(P2005-326396)

【国際特許分類】

C 0 9 D 11/00 (2006.01)

B 4 1 M 5/00 (2006.01)

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

【F I】

C 0 9 D 11/00

B 4 1 M 5/00 E

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Y

【手続補正書】

【提出日】平成20年9月12日(2008.9.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

少なくとも顔料と、有機溶剤と、定着樹脂とを含有するインク組成物であって、
前記顔料は、平均厚みが 30 nm 以上 100 nm 以下であり、50 % 体積平均粒子径が
1.0 μm 以上 4.0 μm 以下であり、かつ、粒度分布における最大粒子径が 12 μm 以下
である金属箔片成分からなる、インク組成物。

【請求項 2】

前記顔料は、金属成分と樹脂成分が積層された構成である請求項 1 記載のインク組成物
。

【請求項 3】

前記金属成分が、アルミニウムからなる請求項 1 又は 2 に記載のインク組成物。

【請求項 4】

前記有機溶剤は、常温常圧下で液体であるアルキレングリコールエーテルを 1 種類以上
含む、請求項 1 ~ 3 の何れか一項に記載のインク組成物。

【請求項 5】

前記有機溶剤は、アルキレングリコールジエーテル、アルキレングリコールモノエーテ
ル、及びラク톤の混合物である、請求項 1 ~ 4 の何れか一項に記載のインク組成物。

【請求項 6】

少なくとも 1 種類以上のアセチレングリコール系界面活性剤及び / 又はシリコーン系界
面活性剤を含む、請求項 1 ~ 5 の何れか一項に記載のインク組成物。

【請求項 7】

請求項 1 ~ 6 の何れか一項に記載のインク組成物を備えた、インクジェット記録用イン
ク容器。

【請求項 8】

請求項 1 ~ 6 の何れか一項に記載のインク組成物と、ノズル直径が 30 μm 以下のイン
クジェットヘッドとを用いて画像を形成する、インクジェット記録方法。

【請求項 9】

請求項 1 ~ 6 の何れか一項に記載のインク組成物を用いて画像が形成されてなる、記録物。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

すなわち、本発明は、(1)少なくとも顔料と、有機溶剤と、定着樹脂とを含有するインク組成物であって、前記顔料は、平均厚みが30nm以上100nm以下であり、50%体積平均粒子径が1.0μm以上4.0μm以下であり、かつ、粒度分布における最大粒子径が12μm以下である金属箔片成分からなる、インク組成物；(2)前記顔料は、金属成分と樹脂成分が積層された構成である前記(1)記載のインク組成物；(3)前記金属成分が、アルミニウムからなる前記(1)又は(2)に記載のインク組成物；(4)前記有機溶剤は、常温常圧下で液体であるアルキレングリコールエーテルを1種類以上含む、前記(1)~(3)の何れか一項に記載のインク組成物；(5)前記有機溶剤は、アルキレングリコールジエーテル、アルキレングリコールモノエーテル、及びラク톤の混合物である、前記(1)~(4)の何れか一項に記載のインク組成物；(6)少なくとも1種類以上のアセチレングリコール系界面活性剤及び/又はシリコン系界面活性剤を含む、前記(1)~(5)の何れか一項に記載のインク組成物；(7)前記(1)~(6)の何れか一項に記載のインク組成物を備えた、インクジェット記録用インク容器；(8)前記(1)~(6)の何れか一項に記載のインク組成物と、ノズル直径が30μm以下のインクジェットヘッドとを用いて画像を形成する、インクジェット記録方法；(9)前記(1)~(6)の何れか一項に記載のインク組成物を用いて画像が形成されてなる、記録物；を提供する。